

授業概要

本講義では、心理学の主要理論を、日常生活の中で経験する様々な事柄と関連づけて紹介し、人の心の基本的な仕組みや働きについて概説する。また、“科学”としての心理学がどのように形成され、発展してきたのかについて、心理学の研究史や研究法の概要についても紹介する。4年間の心理学の学びの基本を経験・理解することが本講義の目標である。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	こころの理解
第3回	知能 知能の定義 流動性/結晶性知能 知能検査の歴史(知能指数や検査の種類等)
第4回	感情① 感情の種類と分化 表情 表出ルールと文化差
第5回	感情② 情動の理論・二次的感情 ネガティブ感情 ポジティブ感情
第6回	教育① 学級集団(ソシオメトリー・学級風土)
第7回	教育② 教師との関連：適性処遇交互作用・ピグマリオン効果・ハロー効果
第8回	パーソナリティ① パーソナリティの定義・類型論・特性論
第9回	パーソナリティ② パーソナリティの査定
第10回	ストレスとメンタルヘルス
第11回	こころの問題
第12回	臨床① 精神分析
第13回	臨床② 行動療法・認知行動療法
第14回	臨床③ クライアント中心療法
第15回	まとめ
第16回	定期試験

到達目標

- ①心理学の成立や発展、心理学における研究方法について、その背景や他学問領域との関連を理解する。
- ②様々な社会的事象を心理学的観点から考察することを通じて、心理学に関する基本的理論を理解する。

履修上の注意

- ・大幅な遅刻・早退、その他受講態度に問題がある者は出席とみなさず、退室を求める。
(講義開始直後に配布する小レポート用紙を受け取り、これを講義終了時に提出すること。)
- ・本講義に関連して、心理学に関する調査や実験の協力を依頼する可能性がある。
- ・その他の注意事項について初回の授業時に伝えるため、**初回授業には必ず出席すること。**
- ・本科目は公認心理師になるために必要な科目(公認心理師法施行規則第1条の二)に対応している。

予習・復習

- 【予習】日常生活上の様々な出来事について、心理学ではどのように扱われているのかを考えること。
【復習】本講義の内容は、心理学を学ぶ上で土台となるため、配布資料を用いて必ず復習すること。

評価方法

講義各回で提出を求める小レポート(約30%)と定期試験(約70%)に基づいて評価を行います。
※小レポートと定期試験の成績にかかわらず、出席回数が3分の2を満たさない者の単位認定は行いません。

テキスト

特に指定しません。講義は配布資料に基づいて進めます。
参考書はその都度紹介します。